

太田市地震防災マップ

関東平野北西縁断層帯主部による地震

建物の壊れやすさ割合マップ

発行：令和3年4月

■建物の壊れやすさ割合マップとは

建物の壊れやすさ割合マップとは、以下に示す想定地震が発生した場合に全壊する建物の割合(壊れやすさ割合)を、地域の震度、建物の構造(木造・非木造)、建築年を考慮して、250mメッシュごとに表示したものです。

■想定した地震

群馬県では、県内に大きな被害を与える可能性のある地震として、県内に3つの想定断層(帯)を想定しています。このマップでは、首都直下型地震の1つである「関東平野北西縁断層帯主部による地震(マグニチュード8.1)」での揺れを想定しています。今回想定している震源以外にも、太田市近傍で大きな地震が発生する可能性があります。震源や地震の規模が変われば揺れやすさも変わること留意してください。

3つの想定断層(帯)の位置

- 断層(帯)
 - 想定断層のモデル
- 群馬県地震被害想定調査(平成24年6月)より

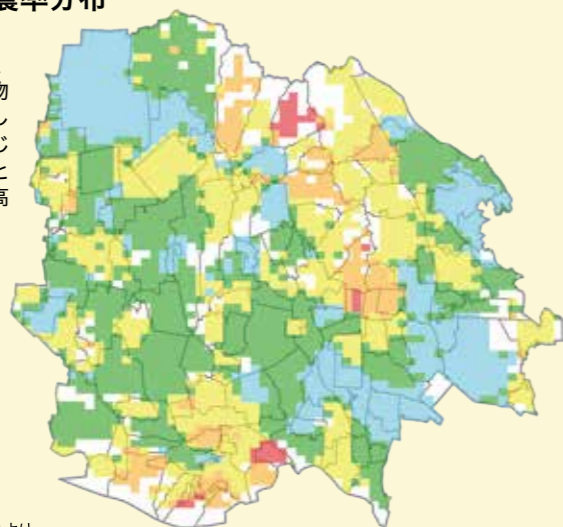


250mメッシュ別旧耐震率分布

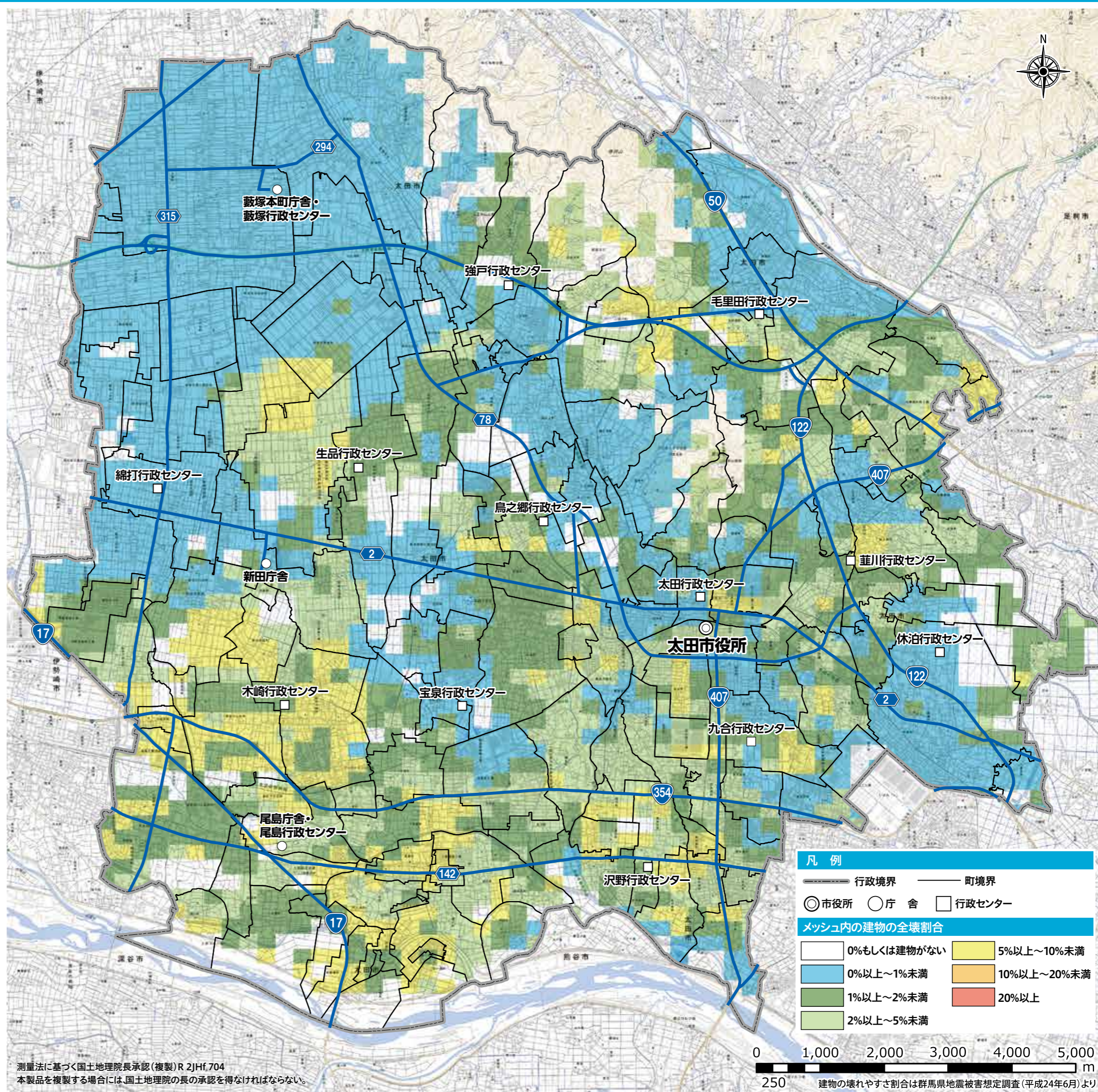
(昭和55年以前建物棟数率)

右図は、250mメッシュごとに、昭和55年以前に建築された建物が占める割合(旧耐震率)を示したものです。揺れやすさが同じ地域でも、旧耐震率が高いことで、建物の壊れやすさ割合が高くなる場合があります。

- 旧耐震率
- 40%未満
- 40%以上50%未満
- 50%以上60%未満
- 60%以上70%未満
- 70%以上



群馬県地震被害想定調査(平成24年6月)より



- #### 凡例
- 行政境界
 - 町境界
 - 市役所
 - 庁舎
 - 行政センター
- #### メッシュ内の建物の全壊割合
- | | |
|-------------|-------------|
| 0%もしくは建物がない | 5%以上~10%未満 |
| 0%以上~1%未満 | 10%以上~20%未満 |
| 1%以上~2%未満 | 20%以上 |
| 2%以上~5%未満 | |

測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R 2JHf 704
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

0 1,000 2,000 3,000 4,000 5,000 m
250 建物の壊れやすさ割合は群馬県地震被害想定調査(平成24年6月)より